



氏名 林 正弘

学歴：1969年 東京大学薬学部製薬化学科卒業
1973年 同 大学院薬学系研究科博士課程中途退学
1975年 薬学博士（東京大学）
1977年～1979年 米国ケンタッキー州立大学に博士研究員として留学

職歴：1973年 東京大学教務職員（薬学部）
1974年 同 助手（薬学部）
1979年 東京薬科大学講師
1980年 同 助教授
1992年 東京理科大学教授（薬学部薬剤学教室）
2000年 東京薬科大学教授（薬学部薬物動態制御学教室）
2003年～2007 同 薬学部長
2012年 同 定年退職； 同 名誉教授
2012年 高崎健康福祉大学薬学部薬学部長・教授（分子創剤制御学教室）
2020年 同 退任退職； 同 名誉教授
現在に至る

受賞歴：1991年 日本薬物動態学会 奨励賞受賞
1994年 タケル・アヤ・ヒグチ記念賞受賞
2005年 日本薬物動態学会 学会賞受賞

趣味：野球、サッカー等の球技全般（実際に参加することが好きだが、現在は専ら観戦のみ）

人生のモットー：

「重要なことは、たくさんしたことや偉大なことをしたかということではなく、
どれだけ心をこめたかということである」（マザーテレサ）

「努力は必ず報われる。報われない努力があるとすれば、それはまだ努力とは言えない」
（王貞治）

講義内容

医薬品開発において、薬物の吸収・分布・代謝・排泄（ADME）に関する研究の重要性は言うまでもない。また薬物の体内動態の速度論モデルを構築して解析し、PK/PD の観点から定量的に予測することは、有効性、安全性評価の上では、必須とも言える。本講義では薬物速度論における解析モデルの構築、解析法の詳細とその応用法を詳細に解説すると共に、ADME の中から薬物の消化管吸収研究の過去、現在、将来の動向を解説することを目的とする。